

令和4年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果について

1. 調査対象

小学5年生 児童551名（男子279名、女子272名）

中学2年生 生徒557名（男子296名、女子261名）

2. 調査内容

(1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査

[小学校8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、
20m シャトルラ、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ、

[中学校8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、
20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ、
20m シャトルランまたは持久走(男子1500m、女子1000m)

イ 質問紙調査 運動習慣、生活習慣等

(2) 学校に対する調査

ア 質問紙調査 体力向上の取組の状況、前年度の調査結果を踏まえた取組の状況、
体育授業の状況、新体力テストの実施状況等

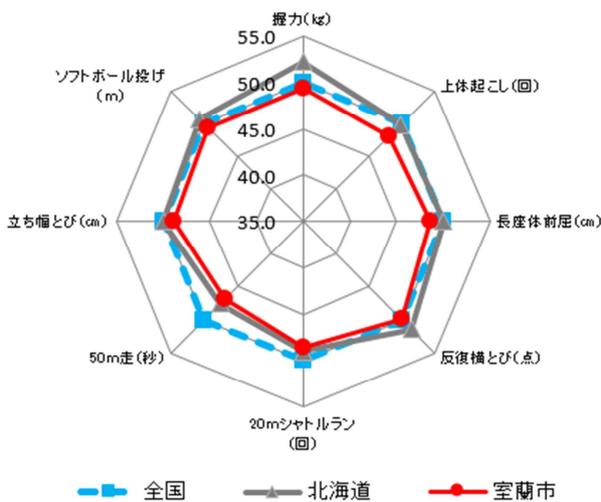
3. 体力・運動能力調査結果の概要 (全国との比較)

(1) 小学5年生男子

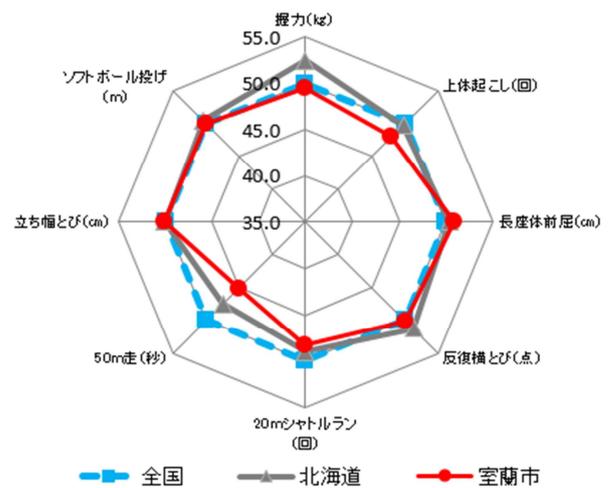
< 体格 >

- 身長：全国・全道平均ともに上回っている
- 体重：全国・全道平均ともに上回っている
- 肥満傾向：高度肥満の出現率は、全国・全道平均を上回っている

< 体力 > 令和3年度



令和4年度

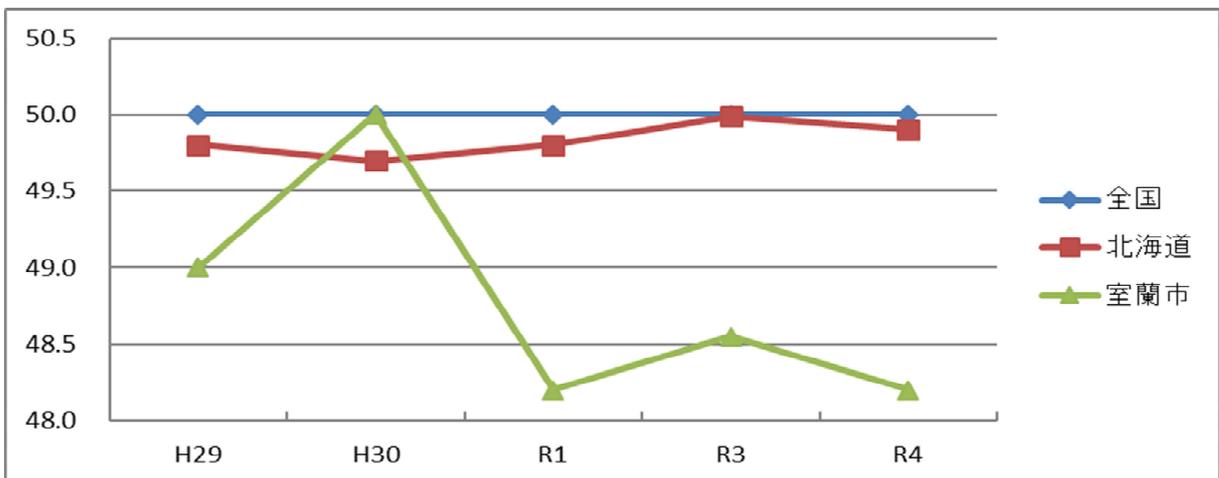


*全国平均を50とした場合の偏差値(T得点)による比較

< 実技の結果 >

- 全国・全道平均ともに上回っている種目：長座体前屈
- 全国・全道平均ともに下回っている種目：握力、上体起こし、20m シャトルラン、50m走
- 体力合計点については、全国・全道平均ともに下回っている

< 小学5年生男子 体力合計点 室蘭市経年変化 >

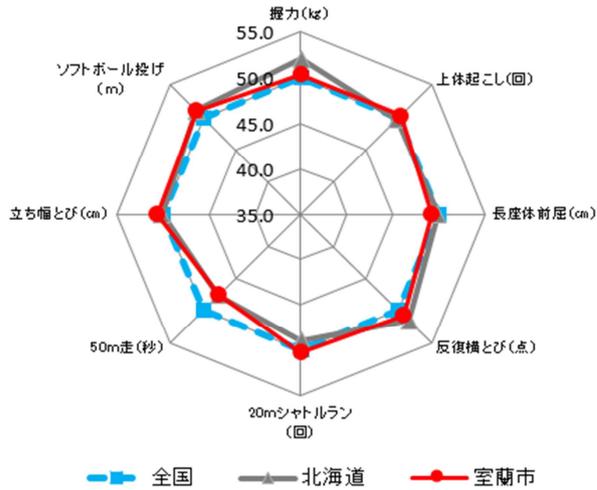


(2) 小学5年生女子

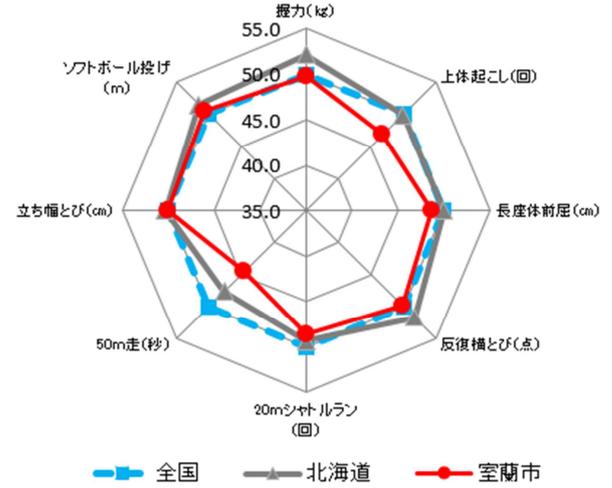
< 体格 >

- 身長：全国平均を上回り、全道平均とほぼ同値
- 体重：全国平均を上回り、全道平均と同値
- 肥満傾向：高・中度肥満の出現率は、全国平均を上回り、全道平均を下回る

< 体力 > 令和3年度



令和4年度

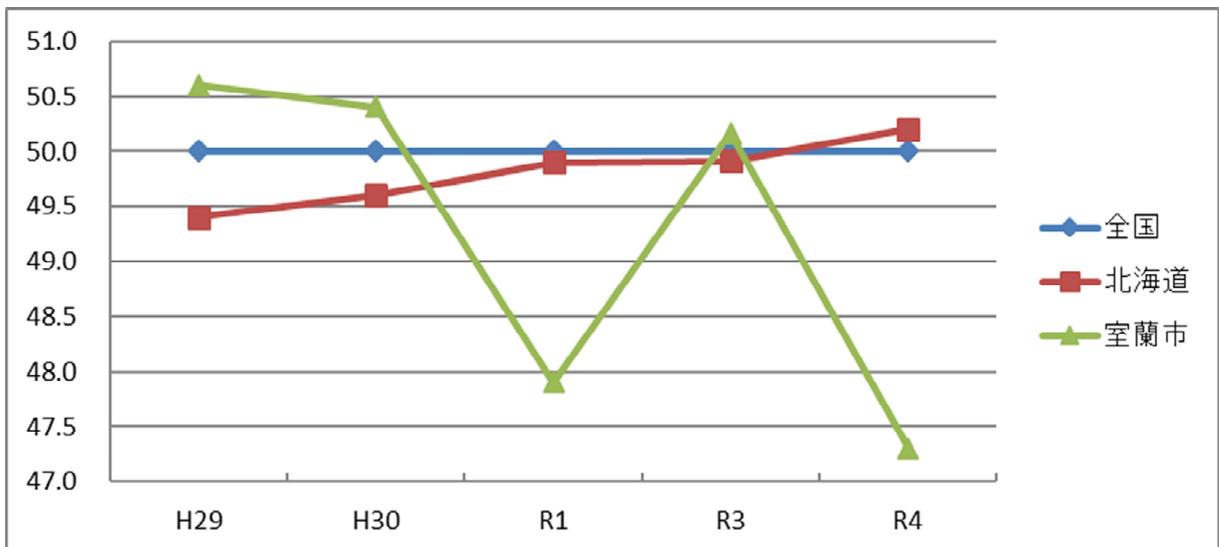


*全国平均を50とした場合の偏差値(T得点)による比較

< 実技の結果 >

- 全国・全道平均ともに上回っている種目：該当なし
- 全国・全道平均ともに下回っている種目：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走
- 体力合計点については、全国・全道平均ともに下回っている

< 小学5年生女子 体力合計点 室蘭市経年変化 >

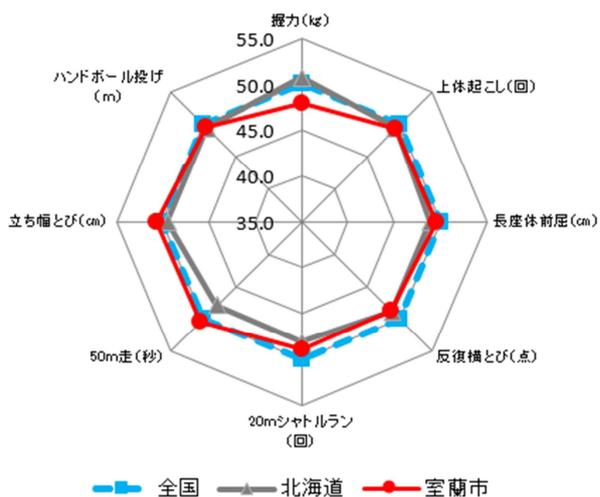


(3) 中学2年生男子

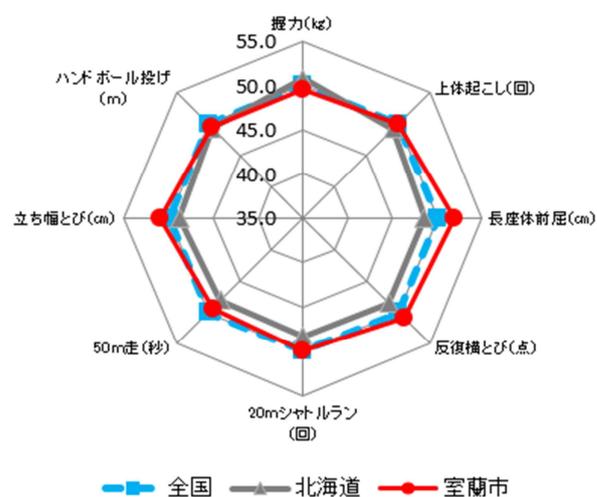
< 体格 >

- 身長：全国・全道平均を若干上回っている
- 体重：全国・全道平均を若干上回っている
- 肥満傾向：高・中度肥満の出現率は、全国・全道平均を下回っている

< 体力 > 令和3年度



令和4年度

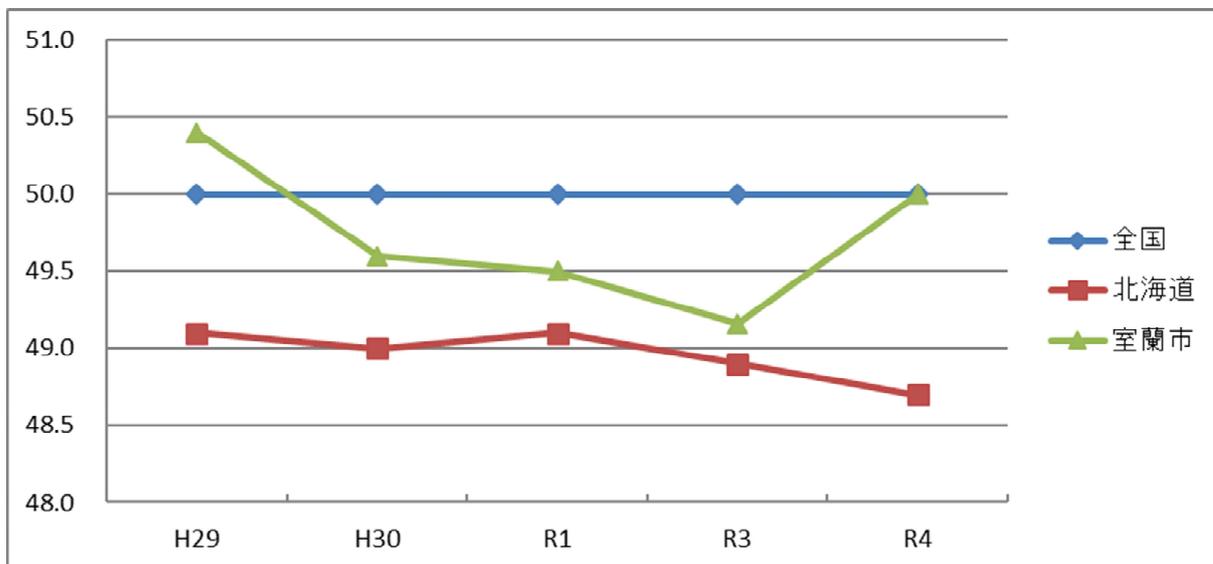


*全国平均を50とした場合の偏差値(T得点)による比較

< 実技の結果 >

- 全国・全道平均ともに上回っている種目：上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅とび
- 全国・全道平均ともに下回っている種目：握力
- 体力合計点については、全国平均と同値で、全道平均を上回っている

< 中学2年生男子 体力合計点 室蘭市経年変化 >

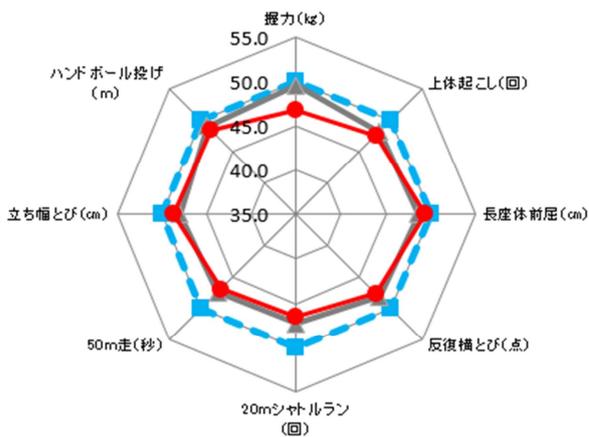


(4) 中学2年生女子

<体格>

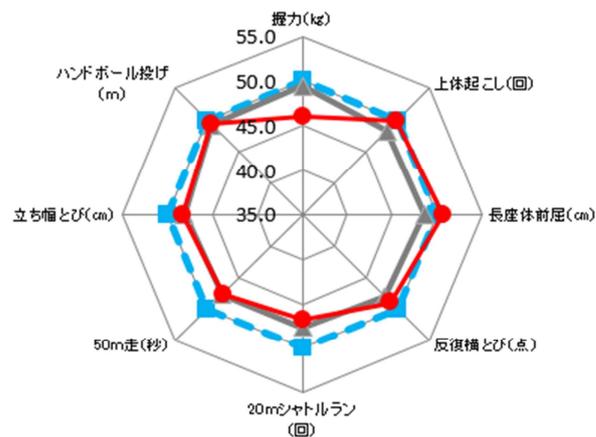
- 身長：全国・全道平均を若干下回っている
- 体重：全国・全道平均を若干上回っている
- 肥満傾向：高度の肥満の出現率は、全国・全道を上回っている

<体力> 令和3年度



—■— 全国 —▲— 北海道 —●— 室蘭市

令和4年度



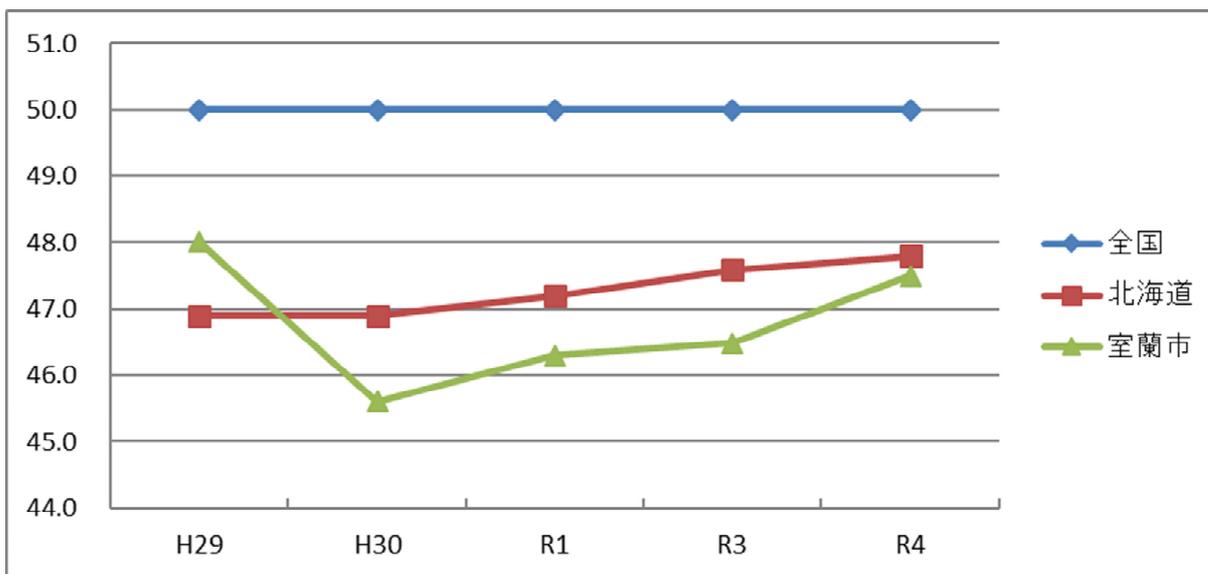
—■— 全国 —▲— 北海道 —●— 室蘭市

*全国平均を50とした場合の偏差値(T得点)による比較

<実技の結果>

- 全国・全道平均ともに上回っている種目：長座体前屈
- 全国・全道平均ともに下回っている種目：握力、20m シャトルラン
- 体力合計点については、全国平均を下回り、全道平均を若干下回っている

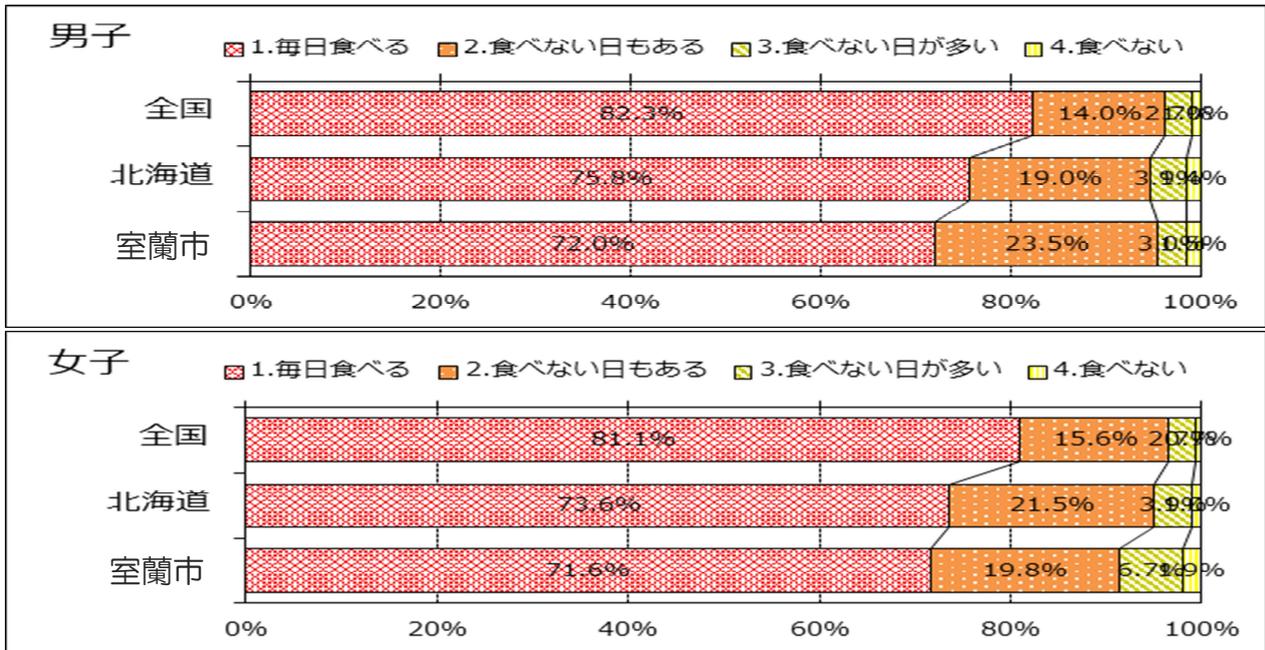
<中学2年生女子 体力合計点 室蘭市経年変化>



4. 運動習慣、生活習慣等の概要（全国との比較）

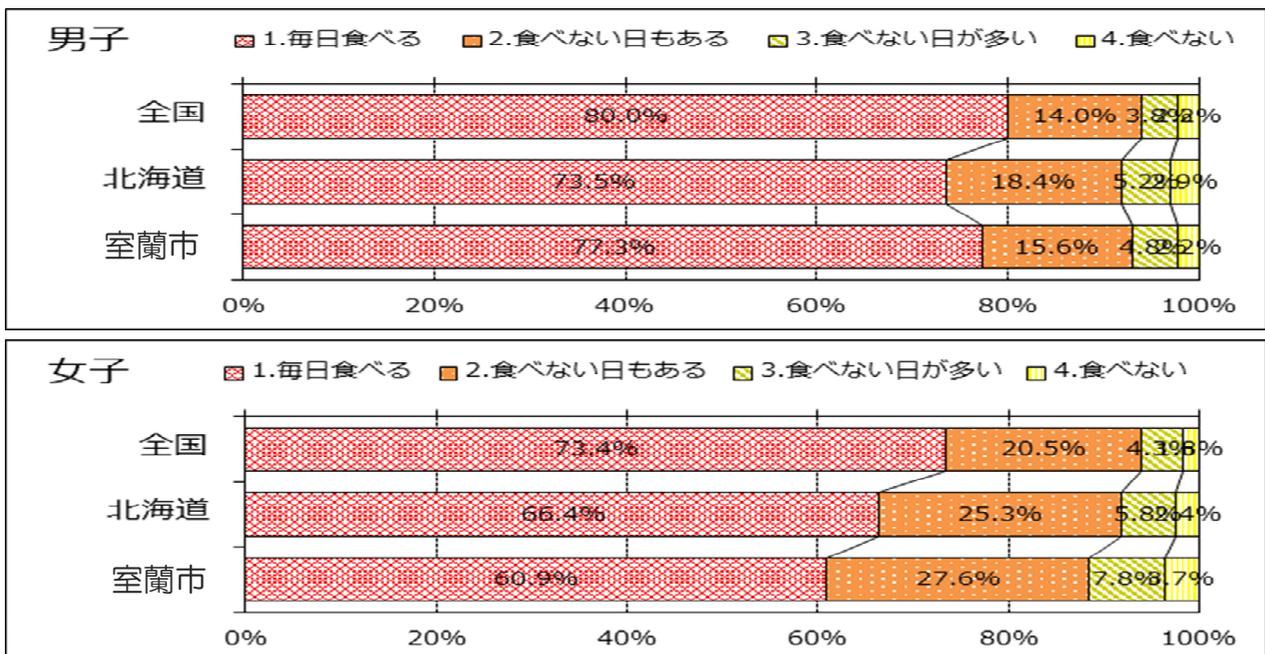
（1）小学5年生

- 運動が好きと回答した児童の割合は、男子は若干下回り、女子は同程度である
- 運動は大切と回答した児童の割合は、男子は同程度であり、女子は若干上回っている
- 体育の授業が楽しいと回答した児童の割合が、男子は下回り、女子は若干上回っている
- 朝食は毎日食べると回答した児童の割合は、男女ともに下回っている（下表）



（2）中学2年生

- 運動が好きと回答した生徒の割合は、男子は上回り、女子は下回っている
- 運動は大切と回答した生徒の割合は、男子は上回り、女子は下回っている
- 体育の授業が楽しいと回答した生徒の割合は、男子は上回り、女子は若干下回っている
- 朝食を毎日食べると回答した生徒の割合は、男女ともに下回っている（下表）



5. 今後の課題と取組

(1) 課題

ア 体力の総合評価（高い：A～ 低い：E までの5段階評価）

	男 子	女 子
小学校	Aの割合は、全国・全道より低い Eの割合は、全国・全道より高い	A～Cは、全道と同程度である Eの割合は、全国・全道よりやや高い
中学校	Aの割合は、全国より低い Eの割合は、全国・全道より高い	A・Bの割合は、全国・全道よりも低い C・D・Eの割合は、全国・全道より高い

イ 実技に関する調査

小5女子の上体起こしと50m走において、全国平均との差が顕著であった。また、種目別合計点では、小学校では男女ともに全国平均と同程度か下回っている種目が多いが、中学校では男子が全国平均、女子が全道平均に近づくなど、体力向上に関わる取組の成果が表れている。

ウ 質問紙調査

(ア) 課題

- a 「テレビやスマートフォン、ゲーム機、パソコンの画面を見ている時間が2時間以上」は、小・中学校ともに全道平均と同程度であり、全国平均より高い。
- b 「中学校を卒業後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか」については、中2女子では全国・全道平均を下回っている。

(イ) 成果

- a 体育の授業で、「自分の好きな種目、できる種目がある」が、小5・中2の男女ともに全国・全道平均を上回っている。
- b 体育の授業で、「自分に合った練習方法を選んで学習することで、できたり、わかったりすることがある」が、小5の男女と中2の男子で全国・全道を若干上回っている。
- c 「友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、できたり、わかったりする」が、小5女子で全国・全道平均を上回っている。
- d 「体育の授業が楽しい」は、小5女子と中2男子で全国・全道平均を上回っている。

(2) 今後の取組

令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、本市の児童生徒の体力合計点は、小学校において全国平均に届いていないものの、中学校では差が縮まっており、改善の兆しが見られた。今後、本調査結果を詳細に分析するとともに、その結果を踏まえ、取組の更なる改善・充実を図る。本市の子どもたちが、運動やスポーツを通じて体力・運動能力を高め、生涯にわたって健康で豊かなスポーツライフの土台を築いていくことができるよう、学校・家庭・地域・行政が一体となった取組の推進を図っていく。